

パソナグループ 2010年5月期 第3四半期決算概要

- 人材派遣事業は受注回復や稼働者数下げ止まりの兆しが見られたものの、本格回復には至らず、人材紹介事業も低調に推移
- 再就職支援事業は受注が大幅に増加、インソーシング(請負)事業も堅調
- 再就職支援事業の大幅増益による下支えがあったものの、派遣・紹介事業の減収に加え、派遣単価のスプレッド低下や派遣スタッフの有給休暇取得増等により売上総利益率が低下
- 販管費は人件費・募集費の大幅な抑制に加え、オフィス統合で業務効率化とコスト削減を推進したことにより、営業利益、経常利益は前年同期水準まで回復
- 一部子会社の繰延税金資産の取崩し等による法人税等調整額の増加に伴い、四半期純損失を計上

【1】第3四半期 連結累計期間業績 (2009年6月1日～2010年2月28日)

(百万円)

	2009年5月期	2010年5月期	前期比	
			増減	増減率
売上高	168,617	136,047	△32,570	△19.3%
売上総利益	33,752	26,751	△7,000	△20.7%
売上比	20.0%	19.7%	△0.3%	-
販売費及び一般管理費	31,585	24,557	△7,028	△22.3%
売上比	18.7%	18.1%	△0.6%	-
営業利益	2,166	2,194	27	1.3%
売上比	1.3%	1.6%	0.3%	-
経常利益	2,331	2,402	70	3.0%
売上比	1.4%	1.8%	0.4%	-
税金等調整前四半期純利益	1,613	2,256	642	39.8%
売上比	1.0%	1.7%	0.7%	-
四半期純損失	△607	△1,404	△796	-
売上比	△0.4%	△1.0%	△0.7%	-

【2】事業セグメント別 (セグメント間取引消去前)

(百万円)

第3四半期 連結累計期間	2009年5月期	2010年5月期	前期比	
			増減	増減率
人材派遣・請負、人材紹介	152,683	116,796	△35,887	△23.5%
人材派遣・請負	147,932	114,772	△33,160	△22.4%
人材紹介	4,750	2,023	△2,726	△57.4%
再就職支援	4,200	8,253	4,052	96.5%
アウトソーシング	11,117	10,214	△903	△8.1%
その他	2,080	3,296	1,216	58.4%
消去又は全社	△1,465	△2,513	△1,048	-
売上高 合計	168,617	136,047	△32,570	△19.3%
人材派遣・請負、人材紹介	2,509	492	△2,017	△80.4%
再就職支援	768	2,541	1,773	230.9%
アウトソーシング	1,587	1,488	△98	△6.2%
その他	77	△78	△156	-
消去又は全社	△2,776	△2,248	527	-
営業損益 合計	2,166	2,194	27	1.3%

※持株会社の費用は「消去又は全社」の中の全社費用として計上されています。

業績の概況

- 再就職支援、インソーシング（請負）が拡大したものの、人材派遣・人材紹介の減収が大きく、連結売上高は前期比19.3%減の136,047百万円
- 利益面では再就職支援事業の大幅増益による下支えがあったものの、人材派遣・人材紹介の減収影響に加え、派遣単価のスプレッド低下や派遣スタッフの有給休暇取得増などにより、売上総利益率が19.7%（前期比0.3%ポイント低下）、売上総利益は前期比20.7%減
- 販管費は人件費、募集費等を大幅に抑制したほか、新グループ総合拠点へのオフィス統合で業務効率化とコスト削減を進め、前期比22.3%減（7,028百万円減）
- 連結営業利益は前期比1.3%増、連結経常利益は前期比3.0%増と前年同期水準まで回復
- 一部連結子会社において、当期をもって役員退職慰労金制度を廃止し、打ち切り支給を行わないこととしたため、役員退職慰労引当金戻入額（150百万円）を特別利益として計上。また、オフィス統合に伴う固定資産除売却損（176百万円）、移転関連費用（143百万円）を特別損失として計上
- 第2四半期連結累計期間を中心に一部子会社の繰延税金資産を取崩したこと等による法人税等調整額の増加に伴い、連結四半期純損失は1,404百万円

人材派遣・請負、人材紹介事業（パソナ、パソナテック、パソナキャリア 他）

＜人材派遣・請負＞ 売上高 114,772 百万円（前期比22.4%減） ※月平均長期稼働者数、派遣職種別売上高… p.4

- サービス業、商社や一部メーカーを中心とした受注回復や、稼働者数下げ止まりの兆しが見られたが、企業の雇用過剰感が続いたため本格的な回復には至らず、派遣先企業における残業抑制や派遣スタッフの有給休暇取得の影響もあって減収
- 一般事務（クラリカル）は下げ止まりつつあるが回復には至らず、営業・販売職は需要の減少に加えて自由化職種の派遣可能期間満了に伴う契約終了の影響を受けた
- 専門事務分野（テクニカル）は、三井物産グループの派遣子会社を平成21年7月に吸収合併したことが貿易事務分野の伸長に貢献したほか、テレマーケティング職の減少率が他職種より低かったことにより、マイナス幅を抑制
- 重点分野のインソーシング（請負）事業は受付、事務センターやコールセンターなどの受託が順調に増加したほか、パブリック案件への提案営業を強化した結果、売上高は前年同期比25.8%増の9,208百万円

＜人材紹介＞ 売上高 国内 1,543 百万円（前期比61.7%減）、海外 479 百万円（前期比33.7%減）

- 国内では企業の採用意欲が依然として低水準であることに加えて、選考基準の引き上げによりマッチングが難化。紹介予定派遣の需要も低調に推移
- 海外事業は需要の底打ちが見られたものの、人材紹介事業全体では大幅な減収

＜人材派遣・請負、人材紹介セグメント＞

- 人材派遣、人材紹介双方の減収による売上総利益減に加え、派遣単価のスプレッド低下や、派遣スタッフの有給休暇取得が前年同期比で増加したこと等の影響により、セグメント粗利率が低下
- 募集費、人件費を中心に販管費を大幅に抑制したものの売上総利益の減少を吸収できず、セグメント売上高は116,796百万円（前期比23.5%減）、営業利益は492百万円（前期比80.4%減）

再就職支援事業（パソナキャリア 他） 売上高 8,253 百万円（前期比96.5%増）
営業利益 2,541 百万円（前期比230.9%増）

- 早期退職、希望退職等の雇用調整が続き、受注が大幅に増加
- 人材紹介部門をはじめ他部門からの配置転換によりコンサルタントを増員し、サービスレベルを維持しつつ、再就職先企業の開拓に注力して再就職決定の早期化に努めた結果、大幅な増収増益

アウトソーシング事業（ベネフィット・ワン） 売上高 10,214 百万円（前期比8.1%減）
営業利益 1,488 百万円（前期比6.2%減）

- 大企業・官公庁等の法人会員に対して提案営業を推進し、ワークライフ・バランスに配慮した福利厚生サービスの提供に注力
- 「特定健診・特定保健指導」等のヘルスケアサービス拡充や、カスタマー・ロイヤリティ・プログラム（顧客満足度向上のための物販およびサービス提供）等の新規サービス増強に取り組む
- 新規サービスの立ち上がりが想定よりも遅れたものの、概ね計画通りに推移

その他事業

- ・ 保育関連事業、語学教室運営などの教育事業、グループ内シェアードサービス会社等を含む
- ・ シェアード化推進のため前年度にシェアード会社を2社設立し、売上が大幅に増加

【3】 財政・投資の状況

● 財政の状況

(百万円)

	2009年5月期 期末	2010年5月期 3Q 末	前期末比		前期末比増減の要因
			増減	増減率	
流動資産	37,358	31,121	△6,236	△16.7%	現金及び預金の減少 3,483 百万円、受取手形及び売掛金の減少 1,507 百万円等
固定資産	18,110	17,079	△1,030	△5.7%	
資産合計	55,468	48,201	△7,267	△13.1%	
流動負債	28,834	19,727	△9,106	△31.6%	短期借入金の減少 5,720 百万円、未払費用の減少 1,415 百万円、長期借入金の増加 2,244 百万円等
固定負債	1,485	5,344	3,858	259.8%	
負債合計	30,319	25,071	△5,247	△17.3%	
純資産合計	25,148	23,129	△2,019	△8.0%	四半期純損失 1,404 百万円、配当金の支払 233 百万円等

● キャッシュ・フローの状況 現金及び現金同等物の期末残高10,683百万円（前期末比3,436百万円減）

(百万円)

	2009年5月期 3Q	2010年5月期 3Q	増減	前期末比増減の要因
営業活動によるCF	477	766	289	主に税金等調整前当期純利益 2,256 百万円、売上債権の減少 2,043 百万円、営業債務の減少 2,490 百万円、法人税等の支払額 1,022 百万円等
投資活動によるCF	△4,225	△128	4,097	主に有形固定資産の取得による支出 318 百万円、無形固定資産の取得による支出 341 百万円、子会社株式の追加取得による支出 1,018 百万円、敷金及び保証金の回収による収入 1,684 百万円等
財務活動によるCF	797	△4,056	△4,854	主に短期借入金の返済による減少 6,300 百万円、長期借入による収入 2,900 百万円、配当金の支払 517 百万円等
フリーCF	△3,748	638	4,386	

【4】 2010年5月期（2009年6月1日～2010年5月31日）通期連結業績予想

人材派遣事業においては、新規受注が下げ止まるなど需要底打ちの兆しが見られますが、本格的な需要回復には今暫く時間を要すると思われまます。人材紹介事業においては、企業の業況判断に厳しさが残り、採用意欲も低水準にとどまっていることから、第4四半期も厳しい状況が想定されます。一方で、インソーシング（請負）事業は着実に成長しており、更なる需要拡大が見込まれるほか、再就職支援事業の需要も堅調に推移すると思われまます。

事業によって回復の力強さに濃淡は見られますが、当第3四半期連結累計期間においては概ね計画通りに進捗しており、利益面でも、再就職支援事業の利益下支えや販管費の抑制により計画通り回復していることから、現時点においては平成21年12月18日に発表した平成22年5月期の業績予想に変更はありません。

(単位：百万円/未満切捨)

	通期連結業績予想	前期比増減	増減率	前期実績
売上高	191,700	△26,999	△12.3%	218,699
営業利益	3,000	149	5.2%	2,850
経常利益	3,300	△61	△1.8%	3,361
当期純利益	200	△112	△36.0%	312

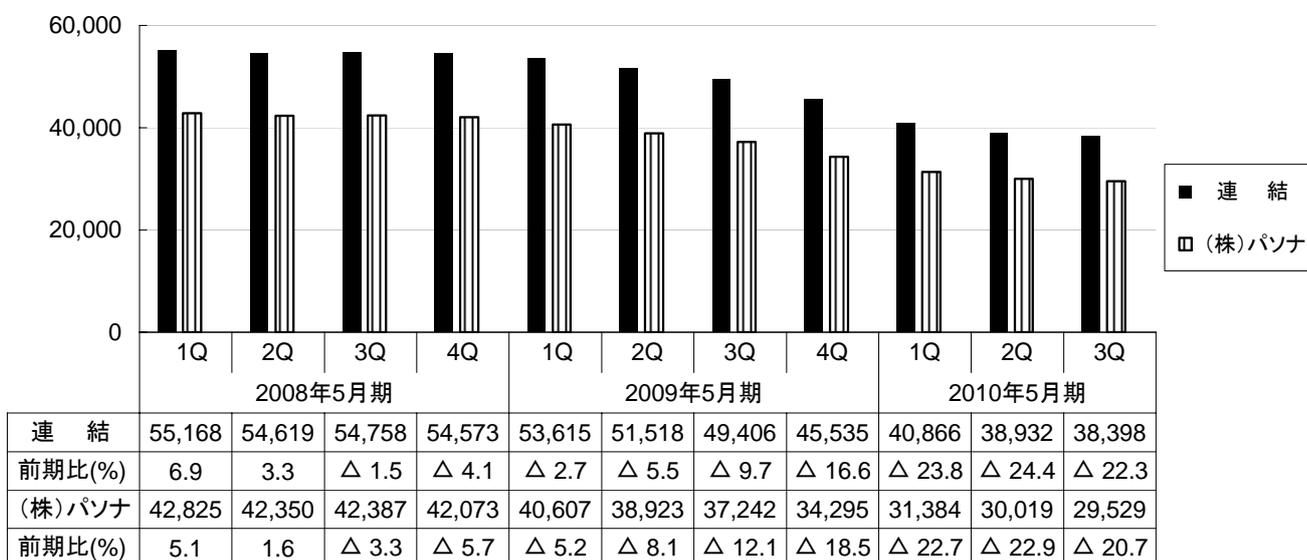
●事業セグメント別 通期連結業績予想

(単位：百万円/未満切捨)

	売上高	前期比増減	増減率	営業損益	前期比増減	増減率
人材派遣・請負、人材紹介	162,910	△34,423	△17.4%	1,060	△2,231	△67.8%
人材派遣・請負	159,660	△31,752	△16.6%			
人材紹介	3,250	△2,671	△45.1%			
再就職支援	12,510	6,715	115.9%	2,770	1,744	170.1%
アウトソーシング	15,000	274	1.9%	2,330	194	9.1%
その他	4,660	1,657	55.2%	△160	△172	-
消去又は全社	△3,380	△1,224	-	△3,000	614	-
合計	191,700	△26,999	△12.3%	3,000	149	5.2%

【5】参考データ

● 派遣長期稼働者数 (1ヶ月以上契約の長期稼働者数の四半期毎の単純月平均) 単位：人



● 派遣職種別 第3四半期連結累計期間売上高 (セグメント間取引消去後)

(百万円)

	2009年5月期 3Q累計	2010年5月期3Q累計				
		売上高	構成比 (前期比増減)	増減	前期比	
クラリカル (一般事務)	78,666	59,629	52.1%	△1.2%pt	△19,037	△24.2%
テクニカル (専門事務)	24,587	19,500	17.1%	0.4%pt	△5,086	△20.7%
ITエンジニアリング	17,019	13,290	11.6%	0.1%pt	△3,728	△21.9%
営業・販売職	11,828	7,780	6.8%	△1.2%pt	△4,047	△34.2%
その他の派遣	8,116	4,950	4.3%	△1.2%pt	△3,165	△39.0%
インソーシング (請負)	7,295	9,151	8.0%	3.1%pt	1,856	25.4%
派遣付随業務	136	97	0.1%	0.0%pt	△38	△28.6%
合計	147,649	114,400	100.0%	-	△33,249	△22.5%

● 四半期業績

(百万円)

	2009年5月期				2010年5月期			
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
売上高	59,136	56,950	52,531	50,082	47,161	44,908	43,977	-
前期比	△2.2%	△3.5%	△9.8%	△15.4%	△20.2%	△21.1%	△16.3%	-
売上原価	47,373	45,514	41,976	40,249	38,326	36,053	34,915	-
前期比	△2.1%	△2.7%	△7.9%	△14.0%	△19.1%	△20.8%	△16.8%	-
売上総利益	11,762	11,435	10,554	9,833	8,834	8,855	9,062	-
前期比	△2.9%	△6.5%	△16.7%	△20.4%	△24.9%	△22.6%	△14.1%	-
販売費及び一般管理費	10,902	10,696	9,986	9,149	8,968	7,815	7,772	-
前期比	3.0%	0.1%	△6.3%	△16.8%	△17.7%	△26.9%	△22.2%	-
営業損益	860	738	567	683	△134	1,039	1,289	-
前期比	△43.8%	△52.1%	△71.8%	△49.6%	-	40.7%	127.0%	-
経常損益	909	894	527	1,029	△119	1,052	1,469	-
前期比	△42.6%	△42.7%	△73.5%	△31.3%	-	17.6%	178.2%	-
税金等調整前四半期純損益	990	610	11	1,272	△155	1,032	1,379	-
前期比	△36.4%	△58.7%	△99.6%	34.1%	-	69.0%	11,497.9%	-
四半期純損益	313	△110	△810	919	△1,102	△594	292	-
前期比	△60.6%	-	-	50.1%	-	-	-	-

本資料記載の将来に関する記述の部分は資料作成時において当社が各種情報により判断した将来情報であり、その内容を当社として保証するものではありません。予想数字等は今後の経済情勢、市場動向等の変化による不確実性を含有しております。本資料は投資勧誘を目的に作成されたものではありません。投資を行う際は投資家ご自身の判断で行っていただきますようお願いいたします。